

かくれた名峰 杉ノ谷山 国有林



国民の山
国有林

香美市 安芸市

杉ノ谷山 1367m

五位ヶ森

杉ノ谷山 (1367m)

安芸平野よりあかに見える
安芸市最北の山の一つ。(国有林)
古井至由でも畑山経由からも
宝蔵峠を登り山頂まで約2時間。
山登りの本に載ってあるが、ほとんど
一般の人には知られていない山である。
山頂一帯はほぼ平坦で、杉の木が
かたどりと調子で生息している。
南には太平洋を、北には三嶽など
四国山脈を望むことができる。

まるまる一日コース
水や食料、ヘッドライト
などの装備が必要。

迷ったらとにかく
上へ登ること。
下れば深い谷
ガケの名険。
クマに出会う
こともありえる。

このマップは
張川林道52支線
終点より谷をたどり
51-山頂-谷の
川原に着いて
います。

道に迷ったり
道迷ハシ道を
見失った時は
戻して下りましょう。

辛くても上へ登る。
そうすれば必ず
頂上へ続く道
を見つけられる。

イノレンジャー

1569年長宗我部氏との戦いに
敗れた安芸國虎の長男・清盛が
一族の畑山氏とともに阿波の國へ
落ち延びる際に通った記録が残る。

正藤・中川の集落は52支
安芸市の集落初転事業で
麓村となる。

正藤には柚子畑にのほねる
ように産屋が並び、スギ木
の中に学校の建物がある。
校舎の中にある黒板には平成
初期に「フケ」記された名前
とほいめ、びんしと卒業生の
総のいる人の言葉が交じられている。

営林署の事業所跡
当時、この見渡は山道と
歩いて正藤にみた
小中学校へ通っていた。
事業所閉鎖によって
中学校閉校。これは
畑山まで通学していた。

畑山
杉の木へ

日本一長い山名?

もの本によると日本一長い山名の
山は山梨県大菩薩山系にある
「牛久保ヶ腹山」(ウシウツカ
ハラヤマ)とされているが、ここには
「丸塚室加勝下室加勝山」(マルツカ
ボウカシラウシモボウカシラウヤマ)がある。
文字数、読み数ともに明らかに長い。もしかして日本一?

仙谷林道

ラクダのこぶのお山が
五位ヶ森 安芸橋道より流る

杉ノ谷山は
遠いからこそ
来てよかったと
思える。

木のふすには杉
の木の汁がたまり
られ、そこに根元の
土壌には2000の
水が保持されている。

杉の木は、ナラの木と違って
材が柔らかく役に立たないから
「無用」(ムナリ)と呼ばれ
て切り倒したら、短期間に朽腐
るので「無」と書く説がある。
四国の一部には「オモリ」と呼ぶ。
オモリとは母と発音する朝鮮
語に由来し、この木と森を指す
母なる木として親しみ
尊んだゆえの言葉であるとい
説がある。

水の神は「水分神(みづりのかみ)」
と呼ばれるとさうである。

雨が山の尾根に降りると
水のこぼり「みくま山」か
うまれる。

展望広場

徳島県境の
馬向指越から
伊尾木川に切れ
込め、深い山々が
よく見える。

別役

別役-正藤-
畑山を結ぶ
いた往還
歩いてみたい。

炭火をもちこむに
おこなわれており
銀山の橋脚用に
99ヶが使われていた。

張川林道
926 畑山~中川間
546 宝蔵峠を越えて
舟越林道と連絡

宝蔵峠

安芸橋より約35km
伊尾木橋より約40km

杉ノ谷山の近くの別役
杉ノ峰というところには
その昔、山姥が住んで
いたという民話が残っている。



栗の橋

古井
大井

木舗

長い林道

暗くがけが
ひらかれる



林道終点

みくまさん

張川林道52支線

海が見える

図標
安50

952

52区

境界標と
目印に登る

ここから平坦になると
大きな崩壊

333

安51 図標
1235m

荒れた谷と
遠く道環の
歩道にのる

ツギヤモミなど
天然林の木と
はがめが登る

空を上げると
見えるもの
快通!!

コナの手つかぬ森

三嶽方面が見える
太平洋が見える

下りになる

香美市との境

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森

五位ヶ森